

15. 牛乳の価値向上に向けた取り組み

西部振興局生産流通部

○森本剣介・繁田政豊

1 背景・目的

近年、消費者の食に対する安心安全への意識はますます高まっている。良質乳の生産には生乳処理室をはじめとした農場環境の改善が重要であり、生乳が食品であるということ意識した適切な管理が必要である。この様な情勢において、(株)明治は、牛乳の価値向上を目的とした良質乳生産酪農家認定表彰制度を実施している。この取組は全国の酪農家を対象に行われているが、大分県ではまだ実施されていない。そこで、県内でいち早くその重要性を認識し、認定取得に向けた取組を行った。

2 取組内容

(株)明治の定める認定基準は以下のとおりである。

- ・第一認定：生乳処理室の美化・衛生管理
- ・第二認定：牛舎・牧場全体の景観美化
- ・第三認定：衛生的な作業

日田酪農組合（28戸）を対象とし、(株)明治と協力して以下の取組を行った。

- (1) 役員会・総会での説明会による周知と合意形成
- (2) 個別巡回による取組への理解醸成
- (3) 認定取得に向けた改善指導

①審査→②改善点の指摘→③進捗確認→④最終審査→⑤認定・表彰

3 活動成果

25戸に対して個別巡回による取組への理解醸成を図り、第一認定取得に向け23戸で審査を実施した。生乳処理室の改善指導を繰り返し、2戸で第一認定取得を達成した。さらに、取組対象を玖珠酪農組合（7戸）まで広げ、1戸で認定を取得した。

取組を進めた結果、環境改善だけでなく、生産者の良質乳生産および牛舎環境に対する意識の向上が図られた。

4 今後の課題

環境美化の必要性は理解しながらも、他の作業を優先し改善が先延ばしになっている農場が多い。取組推進のためには、認定取得農家における優良事例の構築と周知が必要である。また、周辺住民の環境に対する意識の高まりを考慮すると、牛舎内外の環境美化を含む第二、第三認定取得に向けた更なる活動が必要である。